

令和元年度
参観者 感想集

七ヶ浜町教育委員会

No.	参観日	参観数	団体名	主な懇談内容
1	4/25(木)	6名 授業公開学年 特支 3年	七ヶ浜町教育委員会	<p><特支学級></p> <p>① 子供たちが積極的で大変良かったです。体全体で表現しているし、反応が良いと思いました。それによってT1、T2も気分がのってくるのではないかと思います。T2の声も大きく分かりやすく思いました。また、子供たちへのフォローも必ず行っているのも見る事ができました。T1との距離感も大変良いと思います</p> <p>② T1の動きとT2の動きがよく回転していた。子供のアイディアをよく引き出し、全体の者としていた点は大変良かったです。何より、子供たちを生き生きとさせていたことがすばらしかった。それにしても、子供たちは英語科好きだということが分かり、うれしく思いました。</p> <p>③ 英語Cで、こんなに子供たちがのるとはびっくりしました。授業が良かったからでしょう。全体として子供たちはのっているし、特にビンゴゲームでの集中はすばらしかった。みんな積極的に参加していた。英単語をジェスチャー混じりで、もっとたくさん子供たちに発音させる機会があってもよかったです。hungry と angry の発音の違いをきちっと決めたいと感じた。</p> <p>④ T2とT1の掛け合いのテンポが良く、子供たちも楽しそうに授業に参加していた。英語に親しむ初期の段階ではこのような内容が適当であると感じた。クラスに対応した先生方のサポート体制もよくできており、この雰囲気継続していただきたい。</p> <p>⑤ 先生方が子供たち一人一人にとてもきめ細やかに気配りされ、積極的にコミュニケーションをとるよう促しており、学年の異なる子供たちが1つの授業を楽しく受けている様子を見て先生の頑張りが伝わってきました。特別支援のクラスが、こんなに笑顔があって、活気があって、何かこんなに夢中になっている姿を初めて見させていただきました。本当に“うなばらすごい！”と感じました。</p> <p>⑥ 「明るく、楽しく、面白く」全員が自然に取り組んでいました。T1とT2の役割もgoodでした。低学年については、通常学級での取組でも大丈夫ではと思いました。1年から6年までの合同でしたが、全員最後まで集中してできていることは、日頃の成果(クラスづくり)と感じました。</p> <p><3年></p>

				<p>① まだクラス全体が新しく、友達に慣れていない感じがあったので、声が小さく、自分の考えを表に出すことが難しい感じがありました。クラス全体のコミュニケーションが徐々にとれていく感じを受けました。授業のテンポは良いのですが、もっと繰り返しがあっても良い感じでした。この時期、発音、発話を繰り返し、増やしても良いのではと感じました。</p> <p>② 授業の初めは静かに入った感じがあって、大丈夫か？と思っていましたが、徐々に子供たちの気持ちののってくるのが分かりました。読み聞かせも初めて見学しましたが、集中して聞いている様子でした。リズム感とゲーム性があると、やはり盛り上がるのかなあと感じました。好きな物のインタビューでは、書くことに夢中になってしまうのか静かになってしまいましたが、先生が「英語を話そう！」と声をかけていたのが印象的でした。</p> <p>③ T1 の発音の確認の繰り返しは良かった。メリハリが部分的によく見えて良かった。Me too / I see の使い方をもっとはっきりさせると伝達の形ももっと良くなったのではないかと感じました。</p> <p>④ もっと元気・パワーがあっても良かった。教えようとしなくて一緒に遊ぼうという感覚で授業に臨みたい。英語の発音量、発語量をたくさんやってほしい。</p> <p>⑤ T1 の声や表情がとても自然(楽しそう)になってきたと感じました。タンバリンでリズムにのせて活気を出すなど、小物の使い方も上手だと思います。どこの部分も間延びせず、時間配分がしっかりされて英コミの授業が早く終わったような気がしました。子供たちも積極的に手を上げていました。</p> <p>⑥ 身近な教材を使用して子供たちが参加しやすい雰囲気を作り出していたのが良かった。子供たちに話しかける際、T2 がもう少し簡単な英単語を織り交ぜる工夫があると素敵と思った。</p>
2	5/9(木)	5名 授業公開学年 5年	大郷小学校英語支援員1名 ティラー・リーダーズ・プロジェクト1名 光村図書3名	① 児童と T1、T2 とのコミュニケーションがよくとれていた。Hungry と angry の違いを確認するための時間に子供たちが“yeah!”と言ったのは、楽しいことに集中している様子がうかがえた。女子児童がローマ字表を見ながら USU MIDORI と書いていた姿から努力が感じられた。インタビューした後に誰かに当てることはステップアップにつながり大変良かった。hear ではなく listen 確認したことが良かった。コミュニケーションのための授業だと感じた。

				② 子供たちの楽しさが伝わる授業でした。要所でT2が発する言葉が、授業を引き締め、ポイントを分かりやすくしていた。担任がクラス全体をよく見ていて「この児童に発話させたい」「この活動を広めたい」など、学級づくり(マネジメント)をしていて、外国語活動には学級担任の先生が必要だということであらためて実感しました。“listen”と“hear”の違いを説明したり、「聴く」ことの大切さが伝わる授業でした。ぜひ県内の小学校教員の方たちに見てほしい授業でした。
3	5/31(金)	7名 授業公開学年 3年	松島町議員団	① 子供たちの英語の「慣れ」が見られ、T1とT2の連携もよく、楽しく学ぶことによる学力の向上が図られているのを感じました。
4	6/6(木)	4名 授業公開学年 1年 3年 5年 特支	文科省視学官 直山 木綿子 県教委課長補佐 山田 佳哉 教育事務所副参事 山田 秀之 教育事務所主幹 佐藤 和夫 (英語C研修会)	① 面白かった。子供が引き込まれるように絵本等を有効に活用していた。子供たちは耳がいい、一生懸命まねしようとしていた。 ② 学級経営がうまいと感じた。子供をいかに見ているかが大事となってくる。他教科の指導と同じで、飽きさせないように工夫していた。そのため、子供たちは安心して参加できていた。 ③ 単元のゴールは何か、何のために英語コミュニケーションをしているのか考えてほしい。また、振り返りでは本時のねらいに即したものを取り入れてほしい。 ④ 授業の質が高まっていることを強く感じました。先生方が活動する必然性を持たせたアクティビティが展開されていました。本当の必然性(思考する場面)を目指していかなければいけないと感じました。
5	6/7(金)	3名 授業公開学年 1年	学校評議員 (学校評議員会)	① 数年前よりだいぶ難易度が上がり、子供たちの慣れた感じがしました。T1はあまり日本語を使っていないのに単語からかなんとなく意味をつかみ、なんとなく訊かれていることを把握し、英語で話す。この流れができていることに驚きました。ただ、なぜ常に英語コミュニケーションはテンションが高いのでしょうか。コミュニケーション能力が高い子供は楽しいかもしれないが、そうではない子供にはどうなのかと考えてしまいました。同じ単語をいろいろなゲームで確認させながら定着させる、英語に限らず大切だと思います。どの子供も楽しそうに授業を受けていたので良かったです。知らない大人がいても楽しく受けられるっていいですね。 ② ほとんど英語の会話でしたが、子供たちが楽しみ

				ながら学んでいるようで、すごいなと思います。先生方が工夫されて、飽きないように取り組まれているのがよく分かりました。これからも、子供たちが興味・好奇心が湧くような授業を期待します。
6	6/13(木)	3名 授業公開学年 1年	仙台教育事務所 所長 小野寺 修 副参事兼次長 早坂 利昭 副参事(班長) 橋元 伸二 主幹 吉田 昌喜 (所長訪問)	① 子供たちがのびのびと、生き生きと活動しており、これがこれからの英語活動の在り方だと感じた。
7	7/11(木)	4名 授業公開学年 1年 5年	SEGA SAMMY 1名 町役場職員 3名	① 小学校から中学校への進学の際のつなぎ(授業の内容の変化)をどのように対応・調整するかが気になりました。将来的には、小中一貫的なプログラムが学校による格差がないように、レベル感が平準化されていくことを期待します。コミュニケーションを重視した授業スタイルは企業における教育研修にも通じる部分があり、非常に参考になりました。先生と児童が1 on 1 でつながるのではなく、英語コミュニケーションを通じて、人と人がいろいろと複数の線で結び付くことにより、クラス単位にとどまらず学校全体の雰囲気、コミュニティに良い風が吹いているイメージがもてました。 ② 非常に良かった、面白かった。新鮮そのものです。子供たちの表情や教員の熱意が見てとれました。その熱意を教員間で共有し、それを町内の全小中学校で均一に共有・実施できる教育体制を確立していただければと思います。英語教育も大事な点だとは思いますが、見ず知らずの大人の顔を見て元気に挨拶する子供、授業が終わって参観した大人たちに一声かける気遣い、そういった闊達さや思いやりに溢れた校風を続けていただける教育指導が今後も行き届くことを祈っております。 ③ 自分が経験した授業とは全く異なる、楽しそうな光景でした。展開も小刻みで、会話(児童全員⇄先生、児童⇄児童)や単語学習等がテンポ良く切り替わり、集中力を途切れさせないのはとても工夫されていると感じました。「2人一組でのカード早取り」は競争意識を刺激しながらモチベーションを向上、「グループ間の対決」はチームワークや協調性の成長を促進していると感じます。また、先生からの教えを一方通行で聴くのではなく、先生⇄

				<p>児童、児童同士が双方向に発信するスタイルは盛り上がりやすく、記憶に残りやすいと思います。</p> <p>④ 子供たちのはつらつとした姿、積極的に行動し、コミュニケーションを図ろうとする姿に大変感銘を受けました。従来の先生の板書を児童が書き写すという形態にとらわれず、児童同士の積極性を最大限に引き出すことのできる教育方法だと授業風景を拝見し、感じました。また、みんなの前で発表した児童に対し「Good Job!」と褒め合うことは、児童たちの自尊心の形成に大変有意義だと思いました。</p>
8	7/12(金)	39名 授業公開学年 1年 3年	保護者 (学習参観日)	<p>① 英語に興味をもって楽しそうに取り組んでいることが分かりました。子供が自分から英語を話し、楽しく学習していました。</p> <p>② 子供たちの表情がとてもよかった。いつも英語Cの授業を楽しみにしている娘の気持ちがよくわかりました。</p> <p>③ このまま苦手意識をもたないで中学校でも学習してほしい。</p>
9	9/19(木)	9名 授業公開学年	更生保護女性会	<p>① 生きた英語、正しい発音を身に付いている。楽しみながら英語の勉強ができています。ゲームをしながら勉強できることはとても大切なことだと思います。</p> <p>② 子供たちが生き生きして楽しそう。みんな頑張っている英語だけ使っていることがすごいと思う。一人ぼっちになっていた子供もいなかったのが安心しました。</p> <p>③ 2年前にこの学年の授業を見ました。今はすっかり英語が身に付いているようです。発音とかしっかりしていて楽しく学んでいる様子がうかがえました。</p> <p>④ きちんと挨拶をして、もっと楽しんだらいいと思いました。でも、きちんとできている子供もいて、段々上手に挨拶して、声も張りが出てきて、楽しめたようです。音楽かゲーム形式を取り入れてみてはどうでしょうか。学年ごとに段階があり、取り組んでいるのが分かりました。</p> <p>⑤ 楽しく、積極的に動いている授業で、昔、自分もこのような授業を受けていたら英語が好きになっていたと感じます。ゲーム的要素を取り入れて個々がコミュニケーションを取り合っていて良かった。</p> <p>⑥ 大きい声で楽しく英語に親しんでいるのがよく分かった。</p> <p>⑦ 何度も繰り返しの単語は、私にも一緒に話せる空</p>

				<p>気が良かったです。「キレとテンポの良い」「流れとリズム感のある」授業づくりが感じられた。恥ずかしがらずに向き合う授業でした。英語でいっぱい自信がつくように子供たちを育ててください。英語は必要です。</p> <p>⑧ 子供たちが楽しく授業を受けている様子が分かりました。私たちが習得した英語は発音からして違っています。やはり外国人の先生は発音からきれいです。短い文章作りもできることに感心しました。</p> <p>⑨ 生き生きとした子供さんの姿がとても良かったです。先生と児童が一体となって、楽しみながらも真剣に取り組んでいて、会話から入る英語のすばらしさが感じられました。「まず話せる」これがキーポイントですね。書くことは後からついてくるものだと思います。昔の自分たちの授業を思い出し、書くことが主だったように思います。こんなに楽しく伸び伸びと英語を覚えられて本当に良い授業ですね。なんだか自分もできそうな気がしました。</p>
--	--	--	--	---

以上 平成31年4月8日から令和元年10月11日現在
 教育関係者・議員等 26名 保護者・地域の方 54名 合計 80名

【七ヶ浜町立亦楽小学校】				
No.	参観日	参観数	団体名	主な懇談内容
10	11/7(木)	10名 授業開 会学年 3年	七ヶ浜町役場職員	<p>① 子ども達がとても楽しそうに授業を受けていたのがとても印象的でした。ゲームの中に英語を取り入れ、楽しみながら学ぶことでより身近に英語を感じる事ができたと思います。40分の授業で振り返りまでして、次回の授業につながる終わり方をしていたのでよかったですと思います。</p> <p>② スペルを楽しく学べる授業でした。コミュニケーションをしながら、スピード兼ねて楽しく行っているように感じました。集中していることもよかったですと思う。オールイングリッシュを担当の先生が分かりやすく説明を加えてテンポよく行われている様子がうかがえた。</p> <p>③ 物怖じせず子ども達が話していてすごいと思いました。小学3年生とは思えないぐらいよく英語に親しんでいたと思います。とてもすばらしい授業だと思います。</p> <p>④ 楽しく活気があり、T1とT2の絶妙なコンビで</p>

			<p>テンポよく進んでいました。T2のリードはすばらしいです。やはりT2のかかわりが授業に大きく影響していると実感しました。気持ちを色に例えたり、カードを集めたり、笛を使うなど、工夫されているのも分かりました。ゲームにバリエーションがあり、飽きない組み立てになっています。男の子が「Oh! No～」と反応していたのがとても印象的でした。ナサニエルもがんばっていました。金ヶ崎より活気があり、楽しさが伝わってきました。</p> <p>⑤ 楽しく英語を学んでいる様子が良かったと思います。単にあいさつだけではなく、会話を通して自分の思いを表現できていると感じました。</p> <p>⑥ 子供達が楽しく授業を受けているのがとても印象的。英語での最初のとっかかりとしては、スムーズに今後につながりそう。担任の先生もノリノリなので、子供も勉強している感がないように思われるのでとても良い。</p> <p>⑦ 子ども達の楽しく英語に向き合う姿に感動しました。また、子ども達の笑顔に元気をいただきました。</p> <p>⑧ 体を動かしながら記憶の定着を促す良い授業でした。指導過程の失敗をノリでやり過ごすなど段取りの良さがうかがえました。さぞや、入念に打ち合わせされているのとアドリブ力の高さが見えました。CAT、DOG等の単語を完成させるゲームは各アルファベットの枚数が同じなためC>A=E>T=Iの順でレートが高騰するので敗北時にこれらを失うリスクを考えるとDOGが狙い目だと思いました。</p> <p>⑨ 授業中の児童は元気が良く、声もよく出ていました。テンポが良く児童の集中力が続いています。楽しんでいるなあと感じました。英語の発話は、もっとALTの活用を意識した方が良いと思いました。担任自らの英語の発話は極力抑え、ちょっとしたことでもALTにふって発話させた方が良いと思いました。挙手の様子から主体的に授業に参加していました。</p> <p>⑩ 先日、中学校の授業を見させていただきました。小学校で学んだ「コミュニケーション力」や「明るさ」が、うまく中学校でも生かされていると感じました。「P」を忘れたのも、むしろ成功だと思いました。先生方ありがとうございました。 トントン、Good job!!</p>
--	--	--	---

11	11/14(木)	1 2名 授業公開学年 2年 4年	七ヶ浜町役場職員	<p>① 英語コミュニケーションを躊躇なく楽しんでいるようだった。我々初対面の人にも、応用を交えて大きな声で話していた。教科書を見ながら覚えるよりも、普段会話で使える英語をALTの発音・イントネーションで身に付けることで、大人になっても役立つだろうと感じた。英語の授業がこのように楽しく学ぶことができれば、英語に興味を持ち、実践したいと思うだろう。</p> <p>② とても楽しく授業を受けている子供達の姿、想像もしていなかった。英語で気軽に話し、自分に話しかけられた時は片言の英語で返したが子供に通じたか不安でした。英語の授業は中学校からが当然だと思っていたが、小学生のうちから関心をもつことは素晴らしいことだと思いました。</p> <p>③ まず驚いたことは、児童が楽しそうに元気なことです。大人と話した回数が多かった人を全員で共有する点は良かったと思いました。T1とT2の役割がはっきりとされている点もすばらしかったです。体を動かす時間が多いのも良かったです。気になった点は、T2の先生が日本語で説明をされた後にT1の先生が同じ内容の説明を英語で話すのも面白いのではと思いました。それと、教室の正面に時計がなかったことも気になりました。短い授業時間の中で効率的で効果的な授業をされた先生方は本当に素晴らしいと思います。</p> <p>④ 楽しく英語に親しむことに重点を置いている点、全員が声を出しているか気にかけてながら進めている点がとても良いと思った。ペアで机を向かい合わせで地図上の消しゴムを進める際は、向かい合わせだとお互い左右が逆になるため、隣り合わせがいいのではないのでしょうか。</p> <p>⑤ 『楽しく学ぶ』雰囲気づくりを意識されていることがとても伝わってきました。子供達は覚えた英語を誰かと話すことで、自分の学びに自信をつけているのだと思いました。照れながらも、話しかけてくる姿に、こちらも真剣にでも明るく親しみやすく対応しました。コミュニケーションのスタート(きっかけ)は、初対面の人には勇気が必要な婆もありますが、英語コミュニケーションの授業での体験(学習)で、自ら発信できる力がますます育てられるとよいと思いました。私の子供時代にも英語コミュニケーションのような授業があれば楽しく英語を学ぶことができたのになあ・・・と、素朴な感想も追加します。</p> <p>⑥ 子供達はとても楽しく学んでいる。自分の時代にこのような授業があったらと思った。とにかく、</p>
----	----------	----------------------------	----------	---

			<p>先生の指示がとてもよい、ゲーム方式で楽しそう！</p> <p>⑦ 最初のチャレンジのところでは積極的に子供達があいさつをしてくれ、私もすごく楽しむことができました。道案内は本格的で充実している内容だと思いました。私が子供の頃は「難しい」というイメージだったので授業が楽しいと思えることは少なかったですが、子供達が常に笑顔で楽しく授業を受けている様子が見られ、大変よい機会でした。</p> <p>⑧ ノートとペンを使わない環境は、話す聞くに集中でき、児童も楽しく自由に授業に取り組めると思いました。T1とT2の連携で授業の進行がスムーズで、理解できないところは再度確認する等の工夫があり、児童もイキイキ取り組んでいる様子が印象的でした。</p> <p>⑨ 自分から見学の大人にも声をかけて英語で話しかけている積極性があることに驚きました。英語の発音も大きな声で楽しそうに言えていると思いました。T1とT2の先生方が、英語が分からない時の子供達への対応が、分かりやすく楽しみながら学べるように工夫してあるのも、子供達の笑顔につながっていると思いました。</p> <p>⑩ 英語を話す、聞くだけではなく、英語をツールとしてコミュニケーション力を向上させること、そして子供達が楽しんで積極的に取り組んでいる姿がとても印象に残りました。また、今日、教育委員会以外の役場職員が多く見学に来ることができたのは職員の教育現場への理解が深まる機会になったのではないかと感じました。</p> <p>⑪ クラスのみんなとてもパワフルで楽しく授業をしているのでとてもよかった。英語が身近に感じられる環境はとても大事だと思います。また、英語で培ったコミュニケーション能力は社会人になっても大事だと思うので、今後も子供達のために頑張りたいと思った。</p> <p>⑫ 従来のイメージと授業の形が全く異なっていて新鮮でした。うまく答えられなくても手を挙げて前へ出て行く積極性、答えられないでいる児童に否定的な声が全くあがらなく、むしろ思いやりのある声かけ等の他者への配慮が見られた、先進的な授業と子供達でした。ミクロな視点からは、英語「R」の発音等、中学生から習うと恥ずかしくてなかなか正しい発音ができないこともできていて、すばらしい取り組みだとも感じました。</p>
--	--	--	--

12	11/21(木)	20名 授業公開 学年 1年 5年 特支	七ヶ浜町役場職員	<p>① 小学一年生の授業であり、机・椅子を使用せずに展開しているのは大変良い。英語の発音、コミュニケーションで大切なことは表現（体・顔・ジェスチャー・リズム・アクセント）方法であり、体を動かしながら授業を進行させていることに感心しました。ゲーム感覚の授業も一年生にとって集中できている要因です。3年前に岩手県の金ヶ崎へ英語教育の視察に行きましたが、今日の授業の方が良いと感じました（ただし、終了時間までゲームを続けるのは疑問。振り返り時間をもっととった方が良い）。金ヶ崎の子供達も日常的に明るい社交性の高い人に成長していただきたいと心から感じました。</p> <p>② 楽しみながら英語にふれあっていて、一人一人が大変いきいきとしていて良かった。レベッカ先生のネイティブな発音も聞き取れているように感じた。小さい頃から英語に親しむことは大事だと感じた。遊びの要素を取り入れることでみんなが楽しめている。</p> <p>③ 楽しく英会話ができている。英語を、日本語を介せずに直接英語で考えている。一年生でこのレベルはすばらしいと感じた。新しい word が出てきても、すぐ話せて理解できている。ゲーム（福笑い）も一人ずつ参加できて良い。また、できあがりの福笑いの表情、みな個性が出ていた。3人で相談しながら楽しくゲームして、英語に親しんでいる。最後まで子供達は集中して授業を受けていた。</p> <p>④ レベッカ先生の英語の発音をまねして児童達も正しい発音でしゃべろうとしていたのは驚きだった。誰一人嫌がらずに楽しく体の部位の英語を歌っていて楽しんでいる様子が伝わってきた。体の部位の単語をすでに聞き慣れているせいか、ちゃんとどこの部分を示しているか頭で理解していることが分かった。</p> <p>⑤ 汐小の2年生と比べて日本語での進行が多い気がしました。低学年なので、なんとなくでも英語でもいような気がします。ただ、子供に英語の抵抗はなく、みんなが積極的に取り組んでいました。先生が英語で言ったものを日本語で言い直している子がいた。理解はできているがコミュニケーションなので日本語を介さないといいなと思いました。</p> <p>⑥ 耳から入った英語をすぐに口から出すということは、英語を使うという意味で一番必要なことだと感じました。</p>
----	----------	-------------------------------------	----------	--

				<p>⑦ 顔の表情やジェスチャーを多く使って、単語の意味を日常から覚えられるような授業だと感じました。ただスペルを暗記したり意味を暗記するだけでは、どのようなスチュエーションで使うものなのか理解することができません。そのため、それを楽しく知ることができて、正しい発音を耳にすることができる授業はとても良いと考えました。何よりも子供が英語を楽しんでいることがすてきだと思いました。</p> <p>⑧ 子供達の英語を話す姿に「すごい!!」と思いました。自分が小さい時は苦手でむしろ「キレイ!」「見るのもイヤ!」でしたが、リズム感のあるテンポの良い展開で、楽しく話す子供達に改めて拍手を送りたいです。英語が好きになった子供が将来の夢に、英語を使った職業が入り、七ヶ浜から世界へ羽ばたいて行ってほしいと思います。ALTと先生とのやりとりも工夫が見られ、準備も大変なのが分かります。また、話しかけるアクティビティで積極性も培われているように感じました。</p> <p>⑨ 生きた英語を直接耳にしながらの授業はとても貴重だと感じました。会話を通して英語に触れることで、子供達が笑顔で楽しみながら学んでいた。教科書などの教材を机に置かず前を見てコミュニケーションを通して学習しており、とても集中して授業に取り組んでいるようだった。</p> <p>⑩ みんな楽しく積極的に参加しているのが良いと感じた。教科書は使わず、発音など耳で聞いて覚えられること、ゲームをして楽しく英語を学べることは、これから英語でコミュニケーションを行う上で大切であり、継続していくことが必要だと感じた。</p> <p>⑪ 子ども達がみんな積極的に抵抗なく楽しそうに授業を行っていた。みんなが英語を使いながら会話をしたり体を動かしたりと慣れた様子で授業を行っていた。先生方も子供の発した言葉にNOとか静かに等の言葉を発することなく受け止めながら進めていることに、楽しく子供達が授業を受けているのだと感じました。今後、子供達が英語コミュニケーションにますます興味をもち、楽しく行ってくれるといいと思いました。</p> <p>⑫ 授業を楽しんでいる様子であり、英語に慣れている点に驚きました。発言も積極的で、全員でほめ合う姿が印象的です。英語に対する苦手意</p>
--	--	--	--	---

				<p>識も感じられませんでした。</p> <p>⑬ 英語力、コミュニケーション力が小学生レベルを超えている。外国の先生の後、担任のサポート説明もよく、子供達も授業を理解している。本、ノートを使わないのがすばらしいと思う。子供達が授業を楽しんでいる。</p> <p>⑭ 5年生の授業では、あいさつから始まり、ALT、参観者も交えながらコミュニケーションをとっており、全ての児童が同じようにできていて、授業もほぼ英語で行い、みな理解していた。うなばらの教室でも、英語を使用しながら授業を行い、苦に感じている児童はいないように見えた。両方を見て感じたのは、全ての児童が楽しそうに取り組んでおり、そのような環境作りも大事なことだと思った。今後も継続していくことが重要だと思った。</p> <p>⑮ 支援学級の子供達のジェスチャーを使って楽しく授業を受けている様子がとても印象的でした。そして、みんな手を挙げてしっかり発言している姿がとてもほほえましかったです。発音も上手でした。5年生の授業では、支援学級とは違った活発な授業でした。先生方も楽しい授業に取り組み、子供達の苦手意識が取り除かれているとも思いました。子供の頃から「英語」が身近な環境にあると苦手意識もなくなり、みな平等にふれあえる時間があることは、これからの未来に役立つなと思いました。</p> <p>⑯ 子供達の表情からも楽しんで取り組んでいることが伝わってきました。身近なものをテーマに分かりやすく、そして、答えることの大切さを感じられた授業内容でした。コミュニケーションは言葉だけではなくジェスチャーでもできること、相手に気持ちを伝えるためにはどうしたらいいのか考えながら取り組んでいる姿に、こっちも楽しい気持ちになりました。繰り返して取り組むことで自然と身に付けばいいと思えますし、英語を聞き取り相手の伝えようとしていることが理解できるようになれば、違った面白さが発見できると思いますので、楽しむことを大事に今後も継続してほしい取り組みだと感じました。</p> <p>⑰ 誰一人下を向かず、大きな声で楽しそうに参加している様子がとても印象的でした。机を横並びでなく、黒板を囲むような形にし、授業に全員が参加しやすい雰囲気になっているのかなと感じました。「How are you time」もすごい良い</p>
--	--	--	--	---

				<p>などと思います。うなばら授業ではアニマルビンゴで人前に出て大きくジェスチャーをして、楽しそうに授業を受けているのがとても印象的でした。どちらの授業もともに全員が楽しそうに参加しているというところが良いなと思いました。間違いを恐れずの姿勢は小学生だった自分にはなかった部分だと痛感しました。</p> <p>⑱ 間違えることを怖がらずに積極的に発音していて、低学年の時から練習しているのだと感じました。うなばら教室の方ではジェスチャーで動物を表現していたが、恥ずかしがっていて先生が代わりにやっていた場面もあったので、言葉（英語）でも良いのかと感じました。コミュニケーションの授業というだけあって会話メインでとても良いと感じました。英語を好きになれるような雰囲気づくりもとても良かったです。「楽しい授業づくり」と「英語を覚える授業」の両立が大事だと思いました。</p> <p>⑲ 楽しく授業している様子がかがえて良かったです。先生とのコミュニケーションもとれていて、補助(?)のまわりの先生との連携も感じました。先生からの英語を聞くだけでもすばらしいと思うのに、子供達の積極的な発言を聞いて、自然に英語と接することができることに驚きました。繰り返して大切だと思います。先生にとっても良い経験だと思います。私も、今日は良い経験(体験)をさせていただきました。</p> <p>⑳ 子供達が英語を自然に受け入れており、スムーズに授業が進んでいることがすばらしいと思いました。T2の先生方のサポートも英語を交ぜて行っていたので、子供が頼り切りにならない点が良いと思いました。子供同士でも英語で教え合う姿もあり、6年生は英単語も書けておりレベルの高さに感心しました。皆が楽しそうに参加していて良かったと思います。また、T2がサポートに徹しており、子供対ALTの授業ができていたのが良かったです。</p>
13	11/28(木)	8名 授業公開学年 4年	七ヶ浜町役場職員	<p>① 子供達はとにかく楽しんでいる様子であり、小学生のうちから英語コミュニケーションを取り入れることで中学～高校～大学・大人と英語に慣れ親しむことができるとと思います。中学生になってからも英語授業に活かせるのではと思う、とてもすばらしい授業でした。楽しみながら学ぶことができる授業であった。中学校の英語授業が始まる前にこのようなコミュニケーション授業を取り入れることで中学に行ってから</p>

				<p>の授業に活かすことができると思います。</p> <p>② 子供達が楽しそうに英語に触れていて、私達と初対面にもかかわらず、しかも英語で話しかけてきて驚きました。机と椅子で学ぶのではなく、遊びながら、間違えてもみんなで楽しく学んでいる姿がとても良い授業だと思いました。私自身は中学生からの学習で、文法などなかなか覚えづらい印象しかありませんが、小さいうちからコミュニケーションの中に英語を取り入れて、すぐに使える英語を自然と身に付けるというすばらしいプロジェクトだと思います。英語が話せることは、すごい自信になるし、夢も広がります。とてもうらやましいですね。</p> <p>③ 始めに、英語授業のための教室があることに驚きました。子供が楽しく感じるような授業を行っていて、より英語授業の理解が深まっていると感じました。私は中学生から英語を授業で習うようになりましたが、当時の中学生レベルの授業をすでに4年生で習っていてとても感心しました。</p> <p>④ 子供達が楽しそうに授業を受けている様子を見て、とてもすばらしい取組だと思いました。小さい時からネイティブな発音に触れる機会があることがとても重要だと感じました。</p> <p>⑤ ゲームの要素を取り入れて児童が楽しめる内容でした。体を使うこと、コミュニケーションをとることに重点が置かれており、通常の授業とはだいぶ異なる内容でしたが、それだけに英語に自然に親しめていけるように感じました。コミュニケーションツールとしての英語という点ですばらしい授業だと思います。児童達が皆、楽しそうにしていたのがとても良かったです。</p> <p>⑥ すばらしい授業でした。子供達が、聞いて、見て、話して、を楽しんで行っており、英語に対し良いイメージをもつことができる授業であると感じました。私の娘が来年小学生になりますので、今後、同じように授業を受けることができることは大変すばらしいことだと思いました。</p> <p>⑦ 子供達一人一人が生き生きと授業を行っていた。楽しそうで、とても良い雰囲気でした。</p> <p>⑧ 児童と会話した際の児童の発音の良さに驚きました。ALTが主体となり授業を進め、児童達も楽しく授業を受けられている感じがしました。今回はゲーム中心だったからかもしれませんが、もう少し児童全員(個人でも)で英語を話</p>
--	--	--	--	---

				す機会があっても良いかなと思いました。待ち時間が多いかなと感じました。
14	12/19(木)	5名 授業公開学年 2年	七ヶ浜町役場職員 (町教委学校訪問)	<p>① 児童達の積極的な姿がとても良かった。T1レベッカのリズムを上手にを使って、子供達が授業に入りやすくなるのだと思う。サンタクロースに変装してきたのも、私が子供だったら楽しいと思う。文屋先生が、物足りなさを感じた時に1回、2回と反復させていて良いなあと思いました。</p> <p>② 5人とのサイレントコミュニケーション、5人との会話コミュニケーションは楽しい授業に入口だと感じました。土曜日の発音など難しい発音は振り付けしたりゆっくり繰り返したり、先生の効果的なジェスチャーがスピードアップのためのリズム感を付けた発音になっていたり工夫が見られた。また、大切なところは日本語でしっかりと支えていました。英語のクリスマスソングは英語への興味がどんどん出てきて、全員が楽しんで授業を受けていた(たくさんほめていた)。英語コミュニケーションはクラスの和をつくる意味でも効果的であり、英語の授業によってクラスの雰囲気醸成されていると感じました。</p> <p>③ 明るく楽しく集中した授業で、2年生はかわいいね。正しい発音が発音できるよう何度も言わせるのはとっても良いので今後も続けてほしい。ゆったりペースは良いけど、時にはスピードアップして授業を進める時間があっても良かったかな。天気カードや曜日カードを一人一人に発音させる場があっても良い。誰が良かった？何が良かった？と質問し、理解の度合いを確認しながら進めたい。工夫することで、一定の時間、緊張感のある時間帯が演出できるかなと思います(途中から飽き気味なので)。</p> <p>④ 相変わらず低学年はとても元気よく何度も発音しており、楽しそう。授業の準備から始まり、やりきったという印象でした。英語Cは児童同士の接近や大きな声での発話が多いので、ウィルス対策が他の授業に比べてより必要かと感じました。</p> <p>⑤ 子供達、元気が良く、参観者にも慣れている感じがしました。レベッカ先生の(指示)まねをすることが楽しいという感じが伝わってきま</p>

		5年		<p>す。ジェスチャーで言葉を覚える感じが楽しそうでした。振り返りで、どういうところが楽しかったか言わせてみるともっと良いと思います。T1、T2のコミュニケーションも良い。クラス運営も良い感じなのかなと思います。</p> <p>① 2年生の次に5年生を見て、やはり発音も違うなあと感じました。正直、何を言っているのか分からないくらいでした。ただただ感心するばかりです。</p> <p>② 4～6人で会話を交わす練習は、6年～中学での学習の布石になっていた。インタビューシートを用いた会話は、たくさんシート埋めるために時間内でできるだけ多くコミュニケーションをとる姿勢を自然と促す方法として効果的だと感じた。授業を効果的に進めるための補助道具(カード・シート)がよく工夫がなされた授業でした。全般として、授業について行けない児童がいなかった。</p> <p>③ 明るく集中していて、落ち着いた雰囲気良かった。2・3・4と手をかえ品をかえてCan you～?に迫っていたけど、何となく盛り上がり欠けていたようだし、さりとて5年生らしい高度な緊張感もなく、上手にこなした感じでした。学習量をもっともっと増やしたい。どんどんスピードアップして子供達に息をつかせないほどの迫り方がほしいかな。高学年なので尚更かな…。終わって子供達はうっすらと楽しい汗が出るくらいが良いかな。先生はあまりあっちこっち動かないで、必要な場面は動いても良いがどっしりとしていたら良いかな。忙しそうだね。</p> <p>④ 5年生は全員が集中している印象でした。先生と児童の体内時計が染みついていると感じました。ALTのキャラクターに染まって良いと感じました。</p> <p>⑤ 初めて聞く単語でも安心して発話し、互いにコミュニケーションをとろうとしていました。活動内容をしっかり把握しているなと感じます。かるたゲームでのルールの説明不足で、ちょっと授業のリズムが崩れた感がありました。子供達の中に、迷い(これでいいのかな)が見えてました。カードが増えた時も尚更でした。インターゲームでは積極的に活動しようとする姿があり良かったです。全体的に明るく元気に取り組めていたと思います。</p>
--	--	----	--	---

15	1/23(木)	1名 授業公開 開学年 3年	東北学院大学名誉教授 (宮城 豊彦)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子供達の参加感が大きかった。 2. 先生、英語担当者、子供達の構造がしっかりしていた。 3. 教育のターゲットが明確 (ボキャブラよりもコミュニケーション力とか、徹底した繰り返しとか、遊びの中での自然な発音とか)。 4. これが何年生頃になったら、生活の一部にでもこの状態、つまり“より自然な”英語使用が実現できるかが楽しみ。
16	2/14(金)	20名 授業公開 開学年 特支	保護者(学習参観日) SEGA SAMMY 2名	
<p>以上 令和元年10月17日から令和2年3月3日現在 教育関係者・議員等 6名 保護者・地域の方 20名 役場職員 50名 合計 76名</p>				

以上 平成31年4月から令和2年3月

教育関係者・議員等 27名

保護者・地域の方 74名

役場職員 50名

合計 151名